

業 種	鉄道・軌道
取組分野	社内情報伝達及びコミュニケーションの確保
テ ー マ	社内及びグループ企業における部門横断的な取組みの推進
取組の狙い	各部門間で情報交換や他部門業務の体験等を行うことにより、社内及びグループ交通事業者とのコミュニケーションを強化する。
具体的内容	<p>小田急電鉄(株)では、社内及びグループ交通事業者16社(索道、バス、タクシー、船舶)との間でコミュニケーションを強化するため、以下の取組みを実施しています。</p> <p>1. 小田急電鉄内では、2008年度から、安全統括管理者、関係各部長、現業部門の安全担当者が参加し、全運行区間を三つのエリアに分けてエリアごとに、毎月「エリアミーティング」を開催し、情報交換を行っています。こうした部門間のコミュニケーションが、次のようなエリア・部門を越えた自発的な取組みにつながってきています。</p> <div data-bbox="922 584 1401 864" data-label="Image"> </div> <p>①複数の駅と電気部との間で、信号機器を扱う側(信号扱者)の機器に関する疑問を、メンテナンスする側(電気部)が答えていくというスタイルの研究会を開催し、信号扱者の知識向上と相互理解を促進</p> <p>②複数の駅と電車区・車掌区との間で、合同車両入換合図訓練を行い、万一、出入庫用の信号機にトラブルが発生しても、迅速に対応できるよう準備</p> <p>③複数の駅と車掌区との間で、出発指示合図を出す側(駅係員)と扉を閉める側(車掌)の視点を相互に確認するなど、お互いの業務を体験する機会を設け、相互理解を促進</p> <p>④複数の駅と車掌区との間で、列車出発時の安全確認に係る合同訓練及び意見交換会を行うとともに、社内新聞発行などを通じ、情報伝達、コミュニケーションを促進</p> <p>【①～④について、別添参照】</p> <p>2. また、グループ企業間でも、2008年度から、小田急グループ交通事業者安全統括管理者会議を新たに開始し、グループ内での情報交換や安全マネジメントに係る合同勉強会を実施しています。これを契機として、2009年度は、グループのタクシー会社と「踏切保安装置の仕組みや万一車両が踏切内に閉じ込められた時の対応」についての説明会が実施されるなど、グループ企業ならではの合同の取組みにもつながってきています。</p> <div data-bbox="1007 1576 1401 1832" data-label="Image"> </div>
取組の効果	社内他部門やグループ企業との交流体験は、グループ企業内の風通しを

	良くし、自分が担当する仕事の他部門への影響を理解するのに役立つとともに、会社全体のことを考えて行動するという社員の姿勢作りにも役立っています。
事業者名	小田急電鉄(株)安全・技術部 安全マネジメント担当 (連絡先：電話 03-3349-2371)

小田急電鉄(株)における部門横断的取組み(例)

